

Cheers!

なでしこチアーズ

年未年始は要注意!
冬に悪化しやすい「糖尿病」

頑張る人達とあなたへ声援を届ける医療と健康のフリーマガジン

2025
VOL.129
December 12

ご自由にお持ちください

Cover&Interview——代謝・内分泌内科 部長 金子正儀



セカンドオピニオン相談について
「福祉・介護・健康フェア
2025 in 新潟」に出展し、
病院をPR!

Contents

セカンドオピニオン相談について
「福祉・介護・健康フェア
2025 in 新潟」に出展し、
病院をPR!

栄養科より

入院患者さん病院食の嗜好調査結果

公認心理師高山先生より

感じることの豊かさについて

看護部からのお知らせ

認知症看護認定看護師に
相談してみませんか?

今月のレシピ

小松菜とあさりのクリームパスタ

登録医訪問 山の下クリニック(東区)

職場訪問 予防医療センター

年末年始は要注意！

冬に悪化しやすい「糖尿病」

忘年会やクリスマスなどいつも以上に

食べたり飲んだりする機会が多くなる年末。

暴飲暴食に運動不足が重なると血糖値が乱れ

糖尿病のリスクが高まります。

冬こそ注意が必要な「糖尿病」について

代謝・内分泌内科部長の

金子正儀医師に

教えていただきました。



糖尿病ってどんな病気？

血液中のブドウ糖（血糖）が必要以上に多くなる慢性疾患。
日本では、糖尿病が強く疑われる人の割合は40代以降に増加。

● 年代別糖尿病患者の割合

年代	男性	女性
40代	15人に1人	29人に1人
50代	5人に1人	21人に1人
60代	4人に1人	8人に1人
70代以上	4人に1人	6人に1人

(2018年 国民健康・栄養調査より)

● 糖尿病の分類

呼称	症状
1型糖尿病	免疫機能の異常などにより、すい臓のベータ細胞が破壊され、インスリン※を作ることができなくなるタイプ。日本人の糖尿病の数%が該当し、インスリン注射による補充療法が必須。
2型糖尿病	遺伝的な体質に加え、食べ過ぎ・運動不足・肥満などが原因でインスリンの働きが悪くなり、ゆっくりとすい臓のベータ細胞の数が減少し、徐々に血糖値が高くなっていくタイプ。いわゆる「生活習慣病」で、日本人の糖尿病の大半が該当。肥満型とやせ型がある。
その他の疾患などによるもの	すい臓、肝臓、ホルモンの疾患、悪性腫瘍(がん)、遺伝子異常、薬(特にステロイドホルモン薬)などによる。
妊娠糖尿病	妊娠中に初めて発見または発症し、糖尿病に至っていない血糖異常。妊娠に伴うインスリン作用の低下により、高血糖を引き起こす状態。

(新潟県健康づくり財団「知っておきたい『糖尿病』～やさしく学ぶための第一歩～」より)



※インスリンとは、すい臓のベータ細胞から分泌されるホルモン。その主な役割は、血液中のブドウ糖を体の細胞に取り込ませエネルギーとして利用できること。

Profile

2007年3月 新潟大学医学部卒業、医師免許取得

2007年4月 新潟市民病院 勤務

その後、新潟大学医歯学総合病院、長岡赤十字病院、立川総合病院等 勤務

2020年4月 あがの市民病院 勤務

2021年4月 済生会新潟病院 入職

専門分野

糖尿病、内分泌一般

認定資格

日本糖尿病学会／専門医・指導医

日本内科学会／総合内科専門医・認定内科専門医

日本内分泌学会／専門医・指導医

所属学会

日本糖尿病学会

日本内科学会

日本内分泌学会



子どもの頃に出会った 理想の医師を目指して

医師になられて間もなく20年の節目を迎える、代謝・内分泌内科部長の金子正儀医師。燕市吉田出身で、幼少期にお世話になった地元病院での経験が医療人になるきっかけになったと言います。

「子どもの頃、体調を崩して小児科を受診した時に、優しく声を掛けられたり、丁寧に症状について話を聞いてもらったり、温かい記憶があります。とても安心できる先生で、幼いながらに『こんな医者になれたら』と思いました」

さらに、糖尿病療養指導士として奮闘された看護師である母親の影響もあり、数ある診療科の中でも代謝・内分泌内科を選択されたとのこと。現在は多職種で連携しながら、糖尿病患者さんの治療に従事しています。

生活習慣病の一つとして知られる糖尿病ですが、その原因は「太っているから」「お酒をよく飲んでいるから」というだけではありません。食生活の乱れ、運動不足などの環境的な要因や遺伝的要因も含め、世代を問わず発症する可能性がある身近な疾患です。

「糖尿病とは、血糖値を下げる役割を持つホルモンであるインスリンが、何らかの理由で十分に分泌されなかつたり、分泌されていてもその働きが低下してしまう状態を指します。初期には自覚症状がほとんどなく、気づかぬうちに病気が進行していることもあります。一人一人の病態をしっかりと見て、適切な治療を行うことが重要です」と金子医師。

人によつて、病態も治療法も異なる点が糖尿病治療の難しいところですが、「時間をかけてベストな方法を考えていく糖尿病の治療は、自分の性格にも合つていると思う」と教えてくれました。

糖尿病予防のための食事 チェック

糖尿病予防の基本は「食事」です。

下記の項目で当てはまる数が多いほど注意が必要です。

- 食べる時間が不規則
- 食事を抜くことが多い
- つい満腹になるまで食べてしまう
- 早食いである
- お菓子をよく食べる
- ジュースやスポーツドリンクをよく飲む
- お酒をよく飲む
- 揚げ物や脂っこい料理をよく食べる
- 野菜をあまり食べない
- 外食が多い
- 市販の弁当・惣菜をよく食べる

日本で圧倒的に多い2型専門医が見逃せない1型糖尿病患者数。その特徴は大きく分けると1型糖尿病、2型糖尿病、その他の疾患などによる糖尿病、妊娠糖尿病の4つに分類されます（p2参照）。

原因と治療法はそれぞれ異なり、国内で圧倒的に罹患が多いのは2型糖尿病です。中高年以降が多いと思われがちですが、「人によつては遺伝的な要因が原因の場合もあり、加齢が原因とは一概に

現在、当院の代謝・内分泌内科

は言えない」と金子医師。「糖尿病の専門医としてしつかり診断する必要があるのが1型糖尿病になります。

1型糖尿病では、インスリン注射をうまく調整することで、日常生活を送ることが可能です。ただし、食事や生活習慣に大きな問題がない場合は、がんをはじめとする悪性腫瘍が影響している可能性も考えられます。患者さんとご家族のお話をよく聞きながら、しっかりと精査することを心掛けています



● 糖尿病のテキスト＆自己管理ノート

金子医師も編集に協力した新潟県糖尿病患者向けテキスト「知っておきたい『糖尿病』～やさしく学ぶための第一歩～」などの資料類。糖尿病治療では、血糖を自分自身で適切にコントロールすることが大切なため、「自己管理ノート（JADEC 日本糖尿病協会発行）」などを、診療時に患者さんへお渡ししています。いずれも診療時や地域開催の糖尿病教室でも活用されています。

新潟県糖尿病患者向け
テキストはこちらより
閲覧・ダウンロードできます



は金子医師と田川真人医師の2名体制。院内の看護部・薬剤部・栄養科・検査部門の各コメディカルスタッフとの連携はもちろん、地域の病診連携にも積極的に取り組んでいます。

金子医師は患者さんをしつかり支える医療体制を整えつつ、暮らしありに目を配る、そんな温かい姿勢を大切にされています。

「治療には重要な食事療法も人それぞれの対応が求められます。職業柄外食の多い方、独居の方、調理自体が難しい方もいる。外食中の環境であれば、どのような食

事が適切か、食事時間が遅いのであればインスリン注射はいつ頃打つのがベストかなど提案することも医師の役目です。最近では、週に一回の注射で済むインスリン製剤など、画期的な新薬も増えてきました。患者さんの生活背景や希望に応じたサポート体制が整いつつあります。皆さん的生活形態に基づいた治療を提案していくことも可能となってきたのです」。



● 合併症のひとつである
神経障害を診る打鍼器

症状としてまず足から、しびれや痛みなどが現れることが多いため、参考となるのが「アキレス腱反射検査」。患者さんに膝を立ててもらい、両足のアキレス腱を軽く叩き、その反応を調べる。

野菜中心の食事と定期的な運動で糖尿病予防

初期症状が乏しく、健康診断や検診で糖尿病を疑われても放置してしまう人は少なくありません。しかし、進行すると神経障害・網膜症・糖尿病性腎症という3大合併症を発症(右参照)し、進行すると最終的には失明や腎不全に至る可能性があります。その他にもさまざまな合併症が起こりやすいため、血糖値が乱れがちな冬こそ、糖尿病の怖さを理解し、正しい治

療を実践していきましょう。
「冬は、気温が低くなること、高カロリーな食事を取る機会が増えること、運動する機会が減ることから、血糖値が高くなりやすい季節と言われています。夏場は活動量が多いものの、冬場は家にいる機会が多く、運動不足に陥りやすくなります。気軽にできるウォーキングなどの運動やストレッチを週3回程度行うのが推奨されています。また、野菜中心の食事も大切です。どうしても間食が取りたいときは、こんにゃくやゼリーが比較的低カロリーでオススメです。

血糖管理を意識しながら、健康的な冬を過ごしましょう」
金子医師自身も、日々20分以上かけて食事を取り、食後の血糖値上昇がゆるやかになるよう、気をつけています。

血压の変動が大きくなる入浴時には、脱衣所を温めて浴室との温度差をなくし、ヒートショック対策を取ることも、冬場の生活を送る上では重要になります。

(聞き手: 松永春香)



糖尿病特有の3大合併症

糖尿病神経障害



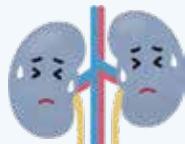
高血糖により、手足の神経に異常をきたし、足の先や裏、手の指に痛みやしびれなどの感覚異常が現れます。

糖尿病網膜症

眼の網膜にある非常に細い血管がむしばまれていく合併症。進行してしまうと失明に至ります。

糖尿病性腎症

悪化すると老廃物を尿として排泄する腎臓の機能が失われ、最終的に透析治療が必要となります。



その他に起とりやすい合併症

脳梗塞

心筋梗塞・狭心症

足の壊疽

歯周病

肝脂肪

感染症

貧血予防に

小松菜とあさりのクリームパスタ



つくり方

- ① 小松菜は根元を切り落とし3cm幅に切り、玉ねぎは薄切りにする
- ② 沸騰した湯に塩（小さじ2程度／分量外）とパスタを入れ、規定より1分短く茹でる
- ③ フライパンに、バターと①の小松菜の茎の部分、玉ねぎを入れ、しんなりしてきたら、小松菜の葉の部分を入れ炒める
- ④ あさりを煮汁ごと③に加え、さっと炒める
- ⑤ 薄力粉を④に加え、牛乳を少しづつ注ぎ入れて、とろみが付くまで加熱する
- ⑥ とろみがついたらコンソメ・塩・こしょうを加える
- ⑦ 茹で上がったパスタを⑥に入れ、全体に絡める
- ⑧ 皿に盛りパセリを散らして完成♪



貧血は、赤血球に含まれるヘモグロビンの量が少なくなった状態のこと。ヘモグロビンの構成成分には「鉄」が含まれます。鉄分が不足すると、ヘモグロビンが減少し、動悸や息切れ、めまいなどの貧血症状が現れます。貧血を予防するために鉄分をしっかり摂る必要があります。

鉄を含む食材として、レバーを思い浮かべる方も多いかもしれません、鉄を多く含む食品は他にもたくさんあります。今回は鉄を多く含む「小松菜」と「あさり」、そして鉄の吸収を助ける動物性たんぱく質の「牛乳」を使ったパスタをご紹介します。

栄養科監修／石井 美桜(管理栄養士)・小野 洋介(調理師)
撮影／岩渕 恭孝(creaBOX)

材料〈2人分〉

パスタ	140g
小松菜	80g
あさりの水煮缶	50g
たまねぎ	50g
バター	20g
牛乳	300ml
薄力粉（とろみ用）	大さじ1
コンソメ・塩	各小さじ1/2
こしょう	少々
乾燥パセリ	少々

ポイント

あさりや小松菜に含まれる鉄は「非ヘム鉄」といい、ビタミンCや動物性たんぱく質と一緒に摂ることで吸収率がアップします。

食事摂取基準「鉄」の摂取推奨量

男 性		7.5mg
女性	閉経前	10.5～11.0mg
	閉経後	6.5mg

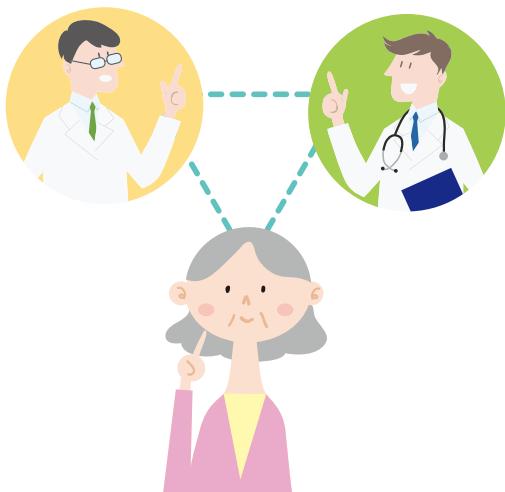
※1日当たり

1食分の栄養価

エネルギー	504kcal
たんぱく質	20.0g
脂 質	15.9g
炭水化物	66.7g
塩 分	2.6g
鉄 分	9.64mg

クックパッドに公開しているレシピを
ご参考ください。





診断や治療の選択などについて、現在診察を受けている担当医とは別に、違う医療機関の医師に求める「第2の意見」を **セカンドオピニオン** といいます。セカンドオピニオンは、今後も担当医のもとで治療を受けることを前提に利用するものであり「セカンドオピニオンを聞くこと=転院すること」ではありません。

診察において、下記のように思うことがあればお気軽にご相談ください。

○○と診断されて担当医から説明を受けたが、診断について別の医師の意見を聞きたい

○○と診断されて、治療選択について説明を受けたが決められない

より良い決断がしたい

担当医の意見を別の角度からも検討したい

再発の診断を受けたが、担当医が提示する以外にも治療の選択肢がないか知りたい

セカンドオピニオン相談について

当院の「セカンドオピニオン」について (予約制)

時 間	1時間以内 ※最長45分の相談を実施し、残り時間で紹介医への報告書を作成
費 用	11,000円(税込) ※紹介医への報告書の文書料含む (健康保険は適用されず全額自費となります)

他院での「セカンドオピニオン」を希望される場合

担当医にお申し出ください

※お申込みには「診療情報提供書(紹介医からのもの)」「セカンドオピニオン相談申込書(当院所定のもの)」などの資料が必要となります。また検査や診察も含めてご希望される場合は一般診療(紹介受診)となりますので、ご注意ください。

みんなの声相談室(B棟2階)

TEL.025-233-6161(代)

平日8:30～17:00(祝日を除く)

表記訂正の
お知らせとお詫び

本誌なでしこCheers!11月号の表紙とP8記事のタイトルに誤りがありました。

誤)市民講座開催を開催します → 正)市民講座開催のご案内

つきましては、上記の通り訂正をさせていただきます。ここに重ねてお詫び申し上げ、訂正させていただきます。今後このような事がないよう、チェック体制を強化・徹底してまいります。

栄養科より 入院患者さん病院食の嗜好調査結果

栄養科では、入院患者の皆さんに喜ばれるおいしい給食を作るために嗜好調査を行っています。今回は8月26日に入院の患者さんで、常食・全粥食・産前食・動脈硬化食・糖尿病食を食べた112人（うち男性54人、女性58人）の方にご協力をいただきました。その結果がまとまりましたのでご報告いたします。

満足度に関しては、「満足・やや満足」と回答していただいた方は男性では平均48.9%に対し、女性では平均60%と男女差がみられましたが、女性は半数以上の方が「満足」と回答されました。また、「不満」と回答した人は、前回の調査に比べて男性は減少しましたが女性は増加しました。

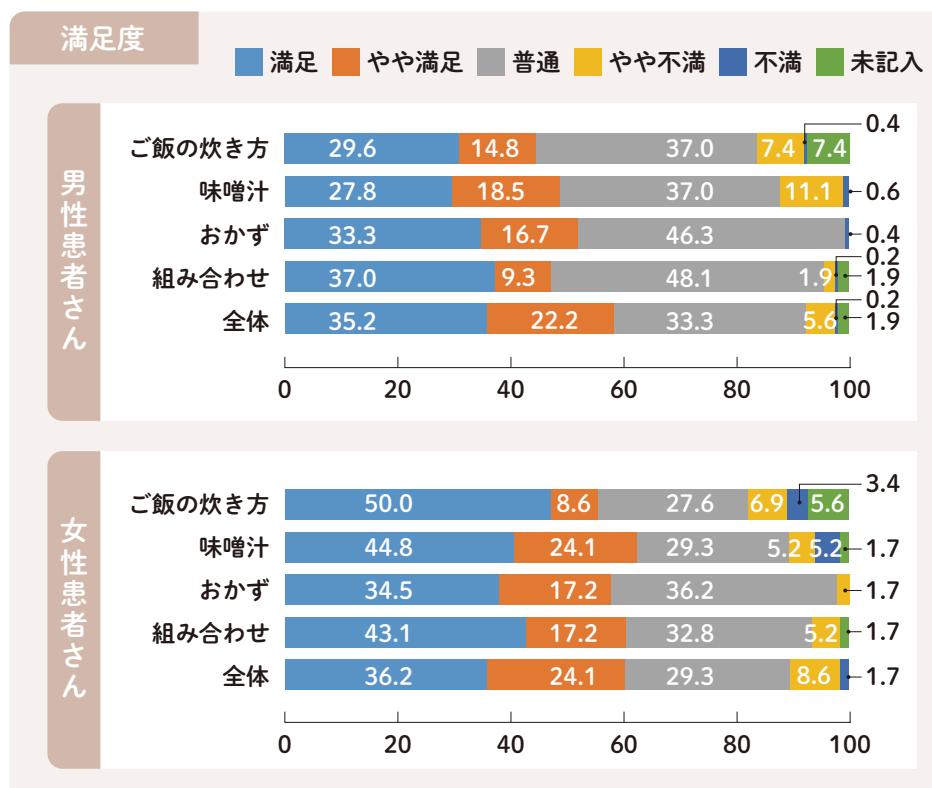
ご意見としては、「入院生活はご飯が唯一の楽しみ」「3食のご飯だけが楽しみ」など、食事を楽しみにしていることに関する内容が複数ありました。今後も食事を楽しんでい

ただけるよう、努めていきたいと思います。

美味しかった料理では、「煮物」が上位に選ばれ、「薄味であるため、食材の甘みが感じられて良かった」というご意見をいただきました。今後も、減塩でも美味しい給食づくりに努めていきたいと思います。そして、第2位には「焼き魚」が選ばれました。これまで魚料理への評価が低かったこともあり、下処理や調理方法を試行錯誤してきた結果、前回に引き続き今回も多くの方に評価いただき、とても嬉しく思います。さらに、「カレーライス」も前回に引き続き上位に選ばれました。

その他、たくさんのお褒めのお言葉もいただき、今後の励みとなりました。

最後に、アンケートにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



美味しかった料理

1位 煮物

2位 焼き魚

3位 カレーライス(ビーンズカレー含む)

給食で食べたい料理

1位 麺類(うどん/ラーメン/パスタ等)

2位 カレーライス/麻婆豆腐

3位 ハンバーグ/果物

お褒めの言葉のご紹介

- 今までいろいろ食べてきましたが、おいしかったです！文句言うところがありません！
- 今日入院して、初めての食事でした。告知以来ずっと食が細かったのですが、とてもおいしく完食しました。この暑さの中で毎日食事作りは大変だと思いますが、食器も綺麗でしたし、一口サイズにしていただいてとても助かりました。



日	月	火	水	木	金	土
12/28 休診日	29 休診日	30 休診日	31 休診日	1/1 休診日	2 休診日	3 休診日
4 休診日	5	6	7	8	9	10 休診日

Report

「福祉・介護・健康フェア in NIIGATA」に 出展し、病院をPR！



11月8日（土）、新潟市内にて新潟日報社等が主催した大規模イベント「福祉・介護・健康フェア in NIIGATA」に出展しました。

当院は、「子ども職業体験コーナー」と「出展ブース」に参加し、多くの方々にお立ち寄りいただきました。

子ども職業体験では看護師体験を実施。子供たちはユニフォームを着て、バイタル測定や妊婦体験、赤ちゃん看護、ギブス着用による車いす体験などに挑戦してくれました。どの体験も興味深そうに、そして楽しく取り組む姿が見られ、また、当院で生まれたお子さんが参加してくれるなど予期せぬ出会い

もあり、子どもたちや親御さんだけでなく職員も笑顔で過ごすことができました。

一方、出展ブースでは、「健康栄養チェック」と題して、栄養や健診に関するクイズを行い、最後に管理栄養士や保健師と一緒に正しい知識を確認してもらいました。次々と来客があり、用意したお土産が早々になくなり、代替品を用意するなど冷や汗をかきましたが、終始にぎやかに進行しました。

お子さんからご年配の方まで幅広い世代の方々と交流し、地域の皆様とともに歩む病院をPRすることができた貴重な機会となりました。（総務課 吉川 未織）

Column

公認心理師 高山先生より

感じることの豊かさについて

だからこそ、自分の感性を感じたいです。インスタや食べログで見た誰かのおすすめではなく、自分の心に素直に決められたらと思います。情報にあふれた時代だからこそ、自分で感じ、選び、言葉にすること、が、自分の軸を作ることではないかと思います。皆さんいかがでしょうか。

社会が豊かになり、選択肢が増えるほど、私たちは選ぶことにエネルギーを使い、自分の内側を感じ取り豊かにすることを、少しずつ失っているかもしれません。選択肢を眺めていることに正解があるような気がしますが、本当に大切な事は自分の内側の豊かさを育っていくことではないでしょうか。

友人とご飯を食べに行くとき、「今日はこれが食べたい」と思う瞬間があります。けれども、インスタグラムでしゃれな写真や、食べログの評価を眺めているうちに、「食べたい」気持ちはどこかへ消えてしまうことはないでしょうか。情報はいくらでも入りやすくなり、選ぶことへの失敗もしづらくなりましたが、色々考えていくうちに気づけば、最初に感じた「食べたい」という直感を見失っていると感じることがあります。



田中愛子さん
たなかあいこ
臨床研修医

次号は

呼吸器内科 医師
風間 はづきさんに
バトンタッチ

凛とした雰囲気の、臨床現場でバリバリ活躍される憧れの先輩女医さんです。優しく丁寧に指導してください、親しみやすく相談しやすい存在です。いつもご指導ありがとうございます。これからも宜しくお願ひします。

少しずつ生活に慣れてきたので、忙しい中でもまたキッチンに立つ時間を増やしていくかと思っています。研修で代謝内科を回った経験から、今後はカロリー・糖質を控えめにしたお菓子作りにも挑戦したいです。これから季節は、街中がきらめくクリスマスシーズン。シユトーレンやジンジャーケツキーなど、冬らしいお菓子を焼いて、甘い香りと共に心温まる時間を過ごしたいと思います。

中でも、カスタードクリームをたっぷり詰めたシュークリーム作りが好きで、きれいに膨らむかどうか、毎回オーブンをのぞく時間が楽しみです。働き始めてから以前より減ってしまいましたが、お菓子作りの時間は私にとつて大切な癒しのひとときです。

学生時代、バレンタインのチョコレート販売のアルバイトで、たくさんのおいしそうなお菓子に囲まれたことがきっかけで、お菓子作りが趣味になりました。



看護部からのお知らせ

認知症看護認定看護師に
相談してみませんか？



認知症看護認定看護師は、「日本看護協会」が認める認知症ケアのスペシャリストです。認知症の方が、住み慣れた場所で安心して過ごせるよう支援する役割があります。

現在は入院患者を中心に入院生活を送り治療が受けられるよう、病棟看護師と一緒にケアをさせていただいたり、院内外の職員に対して認知症の方への関わりなどを知ってもらえるよう研修を行ったりしています。

外来通院している認知症の方、あるいは認知症という診断はないけれど、認知症を疑うような症状でお困りの方やそのご家族に対して、相談・サポートさせていただいております。

「突然怒ったりすることが増えた」「最近同じことを何度も聞き返す」「できていたことが分からなくなり、できなくなった」など日常生活でお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。その際は外来看護師までお声かけください。

(認知症看護認定看護師 水落 真衣)



施設が少ない現状もあります。「これまで大学病院でリウマチ・膠原病疾患の診療に従事してきた経験を活かし、疾患の治療だけにとどまることなく、患者さんの生活を守る事を目標とし、これから的新潟の膠原病診療を支えていきたいと思つております。よろしくお願ひいたします。

山の下クリニックの古屋秀和と申します。当院は院長の阿部行宏が阿部内科胃腸科を継承し2021年に東区、山の下にて開業しました。これまで院長の専門である消化器内科を中心とし、「地域のなんでも相談所」を目指し、幅広い疾患の診療

Medical Partners

医療連携の頼れるパートナー

登錄医訪問

山の下クリニツク

東区

A map of the area around Niigata Minato Tower. Key locations include the tower itself, the Niigata Minato Tunnel, the Port Line (臨港線), the Niigata Port (新潟空港), the Nagaoka Bridge (庄内橋), the Cocカラファイン山下店様 (Cocカラファイン山下店様), the Kotonoha Corner (紡績角), the Chōjirō町 (長者町), the Niigata City History Museum (新潟市歴史博物館), the Minato River (信濃川), and the Yabase Bridge (通船川). Major roads shown are National Route 119 (119) and National Route 113 (113). A red location marker is placed near the Kotonoha Corner.

医師名	ふるやひでかず 古屋秀和先生	
住所	〒950-0066 新潟市東区長者町5-5	
電話	025-273-3535	
診療時間		月 火 水 木 金 土 日
9:00～12:00(阿部院長)		● ● ● ● ● ●
15:00～17:30(古屋先生)		● ● — ● ★ —

★ 金曜 14:00～16:00はリウマチ・膠原病専門外来（要予約）



連携医療機関(登録医・病院)からの紹介・ご予約について

当院の**地域医療連携室**までご連絡ください。

TEL.025-233-6182〈直通〉 FAX.025-231-5763

※平日8:30～17:00（土・日・祝日を除きます）

※患者さんからの予約はお取りしておりませんのでご了承ください。

*登録医訪問に掲載ご希望がございましたら、地域医療連携室までご連絡ください。

地域の皆さまの健康を守るお手伝いをして います。また、今月より「すい臓がん」に関する 2 種類の採血検査を始めるなど、幅広いニーズにお

- ② 職場健診
 - ③ 新潟市がん検診
 - ④ 特定健診
 - ⑤ 固形・健診

診療に携わる医師や看護師、各検査を行う技師など専門の資格を有した病院職員が一丸となつて精度の高い検査を提供しています。

当センターの大きな特徴は、総合病院である済生会新潟病院の機能を最大限活かした健診施設と

Workplace visit

院内で頑張るスタッフがぐらり

職場訪問

予防医療センター



日々を豊かに過ごすために欠かせない“健康”を今一度振り返り、ぜひ人間ドックや健康診断を受けにお越しください。





こころ躍る
毎日を。



APITA



どなたさまでも!!

やっぱり火曜は
アピタがオトク!

火曜特売

朝から晩まで1日オトク!

毎週火曜日は生鮮食品を中心に、
お買い得商品盛りだくさん!

どうぞご家族お揃いの上、ご来店くださいませ

majicaアプリ・UCSカードmajica・
majica donpen card会員さま限定企画

圧倒的な破格プライス

マジ価格

majicaアプリ会員証、UCSカードmajica、
majica donpen cardのご提示でおトクにお買い物!
※majicaカード会員さまも対象になります。

アピタ新潟西店 新潟市西区小新5丁目7番21号 **お客様専用ナビダイヤル** ☎0570-009608

予防医療センターのご案内

「治療」から「予防」へ 予防医療の実現を目指します



健診内容

- 人間ドック（一部腫瘍マーカーが含まれます）
- 脳ドック ● 肺ドック
- その他各種健診

詳しい内容については右のQRコードから
ホームページでご確認ください



新しい膵臓がん検査を導入しました!

早期発見のチャンスを、もっと正確に
~すい臓がんのリスクをより正確にチェック~

- APOA2アイソフォーム
- プロトキースイ臓がんリスク検査



どちらも血液検査です。また、既存の検査CA
19-9と合わせて2項目・3項目セットも新設
しました。簡単な採血検査で早期発見に繋げましょう!
ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

☎ 025-233-6669 (直通)

予防医療センター受付時間 平日9:30～11:00

お電話でのお問合わせ時間平日9:00～16:30

地域医療支援病院 臨床研修病院 災害拠点病院 赤ちゃんにやさしい病院

社会福祉法人 恩賜 済生会 **済生会新潟病院**

〒950-1104 新潟県新潟市西区寺地280-7

TEL.025-233-6161(代) FAX.025-233-8880

なでしこチアーズ
Cheers!

当院HPよりバックナンバーもご覧いただけます。

医療連携機関マップ
<http://saiseikaidaini-renkei.jp>



病院ホームページ
<http://www.ngt.saiseikai.or.jp>



こちらも
注目



済生会新潟病院の

エックス

ツイッター

X(旧Twitter)好評稼働中!

当院キャラクター
まさきくん

